

議員提出議案第1号

米国とイスラエルの軍事行動の即時中止とそれに伴う報復の連鎖に対し、外交努力による即時停戦を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和8年3月27日

提 出 者

26番 深 沢 達 也

11番 落 合 勝 利

13番 さ こ う も み

21番 本 間 ま さ よ

武蔵野市議会議長 木崎 剛 殿

米国とイスラエルの軍事行動の即時中止とそれに伴う報復の連鎖に対し、外交努力による即時停戦を求める意見書

令和8年2月28日、米軍がイスラエル軍とともに、イランに対する軍事攻撃を開始し、首都テヘランや各都市を爆撃した。この攻撃により、イランの最高指導者ハメネイ氏と多数の市民が死亡し、その中には小学校への爆撃による子どもたちの犠牲も含まれていることが報道された。

こうした軍事行動は、令和8年1月4日、米国トランプ大統領によって発表された、米軍によるベネズエラ攻撃と同国大統領夫妻の拘束とともに、独立した主権国家に対し、言うことを聞かなければ武力でねじ伏せるというやり方であり、第二次世界大戦後、戦争の勃発を防ぎ得なかった国際連盟の反省から、新たに設立された国際連合が国際世論を背景に築いてきた「国連憲章」や「国際法」を無視した暴挙に外ならず、断固阻止しなければならない。

報道によれば、国連安全保障理事会は、米国とイスラエルのイラン攻撃を受け、緊急会合を開き、グテーレス事務総長が即時停戦を呼び掛けたが、イラン軍は反撃し、戦闘状態はやまず、ホルムズ海峡の事実上の封鎖により、原油価格の高騰による物価高等、世界各国、地域の市民生活に与える影響が強く懸念される。

武蔵野市は、さきの大戦で空爆を受け犠牲者を出した経験から、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に語り継ぎ、恒久平和を目指す運動と施策の執行に、営々と取り組んできた。海外の友好都市との交流も、その一環であり、米国では、テキサス州ラボック市との間に、ジュニア大使の相互交流をはじめとした40年にわたる友好の絆がある。この絆を人間同士の自然の情愛によって守り育てていくためにも、米国とイスラエルが武力でなく話し合いによる外交課題の解決に踏み切ることを切望する。

よって、武蔵野市議会は、日本政府に対し、下記のことを求める。

記

米国とイスラエルに対し、軍事行動の即時中止とそれに伴う報復の連鎖に対し、外交努力による即時停戦を強く求めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年3月 日

武蔵野市議会議長 木崎 剛

内閣総理大臣
外務大臣 } 宛て